

Vol.65

石狩開発 株式会社

ISHIKARI DEVELOPMENT CO. LTD

編集発行/営業企画部

北海道石狩市新港西 1-721-11

TEL 0133 (72) 2200 FAX 0133 (72) 4055

協賛/石狩湾新港企業団地連絡協議会

http://www.ishikari-dev.co.jp

石・狩・湾・新・港・地・域 SAPPORT NEWS

●産業拠点●SYNERGY=SAPPORO×PORT×INDUSTRY

大型施設・工場の建設着工相次ぐ

東洋水産即席麺工場、ツルハ物流センター

北ガスLNG基地 など

石狩湾新港地域で大型施設・工場の新増設が相次ぎ、活況を呈しています。ツルハ・あらたの新物流センター、東洋水産の即席麺工場、さくらインターネットの石狩データセンター、北ガスのLNG基地など、建設・着工が続いています。

東洋水産 即席麺工場

新港地域に移転新設
東洋水産(株)は、札幌市西区宮の沢にある札幌工場を石狩湾新港地域(小樽市銭函五)の同社敷地内に移転し、この6月から建設着工して来春稼働をめざしています。



東洋水産即席麺工場イメージ図

新工場は鉄骨造3階建て、延べ2万3千平方メートル、総投資額は60億円。看板商品「赤いきつね」、「ちきりそば弁当」などの即席麺製造ラインを設け、北海道内に供給します。

この移転により、生麺・即席麺製品の大規模生産拠点を、冷蔵部門・営業部門を集約して、安定した供給体制を整えて効率化を図る



あらた、ツルハ新物流センター

石狩湾新港地域には1991年以降、計9万5千平方メートルの用地を取得。94年には「石狩第一冷蔵庫」を建設してその後、三つの冷蔵倉庫を稼働(計5万7千トンの庫容)しています。また、2003年から株式会社「石狩東洋(株)」が生麺やハム、ソーセージを生産しています。

ここで、より一層の顧客サービスの向上ときめ細かい販売活動の展開をめざしています。

新物流センター

あらた「道央支店石狩センター」
ツルハ「北海道物流センター」
全道のネットワーク拠点
日用雑貨卸大手の「株あらた」(千歳市船橋)は、国道231号沿いの新港南三の約3万2900平方メートルの敷地に、自動立体倉庫を併設した物流センターを新設して、

また同社は今回、ドラッグストアをチェーン展開する株ツルハホールディングス(札幌)の業務を全面受託し、「ツルハ北海道物流センター」として北海道内のドラッグストア約300店を、カバーする物流ネットワークの重要な拠点業務を運営することとなりました。

北ガス LNG基地建設
2012年12月の運転を目指して、北海道ガス・液化天然

然ガス(LNG)基地の建設工事が、石狩湾新港中央埠頭地区で着々と進んでいます。

LNGを貯蔵する特殊金属タンクは、二重構造で外径は86メートル、高さは54メートル、13階建てのビルの高さに相当するもの。

タンクの容量は18万立方メートル。地上式では国内最大級の大きさです。エネルギー政策の見直し

が話題となっていますが、天然ガスはメタンを主成分とする可燃性ガスで、石炭や石油に比べCO2の発生量が少なく、大気汚染の原因となる硫黄酸化物も少ないのが特長

です。北海道の新たな「エネルギーインフラ」としてのLNG基地プロジェクトが着実に進行しています。



北ガスLNG基地

biz network
http://www.ishikari-dev.co.jp
kikaku@ishikari-dev.co.jp

新港地域に

コメくん蒸倉庫

農水省 登録

中国への精米輸出拡大めざす

日本産のコメは、自国中国産などと比べて価格が高いものの、安全安心で高品質なことから、富裕層などへの消費拡大による中国へのコメ輸出の増加が期待されています。しかしながら、中国へのコメの輸出は、指定精米工場における精米と登録くん蒸倉庫におけるくん蒸が義務付けられています。これまで、国内ではこの条件を満たした精米工場と倉庫が神奈川県に1カ所ずつしかありませんでした。

中国へのコメ輸出の拡大を図る観点から農林水産省は、くん蒸倉庫の登録に必要な3か月間の調査を、全国8か所で行いました。その結果、カツオブシムシ類の発生が確認されなかったため、植物防疫所において中国向け精米のくん蒸倉庫として、この8カ所を登録しました。

五の倉庫5棟のうち1棟(1千平方メートル)が登録されました。現在、中国に輸出されているコメの大部分は新潟県の「ゴシヒカリ」ですが、これによって北海道産精米の中国への輸出拡大への条件が整ったこととなり、関係者から期待が寄せられています。中長期的に「輸出」、観光などのグローバル需要を取り込んでいくことが、これからの地域経済の発展には必須であり、このための着実な一歩であると言えます。



北海道では唯一、石狩湾新港地域内の小樽倉庫事業協同組合(小樽市銭函

震災、被災顧客の支援に奔走

納豆「帯掛け包装機」メーカー

光豊

震災後「首都圏のスーパ―が納豆が消えた」との噂が流れました。これは東日本大震災で、包装パックのフィルムメーカーが被災して供給が滞ったため、首都圏で納豆が不足気味になったものです。

新港南二丁目の(有)光豊(齋藤憲利社長)は、東日本大震災後は茨城などを中心に、納豆メーカーを支援。機械装置の調整や試運転など、被災した顧客の復旧支援に奔走しました。

同社は、食品工場での省力化機械の設計製作とメンテナンス業務を行っています。スーパ―などで納豆や豆腐

が、二つもしくは三つのパックで商品名を印刷した薄いフィルムに巻かれた状態で売られていますが、そのフィルムを巻く「帯掛け包装機」やパックを包装機に供給する「段積み移り装置」を製作。

「段積み移り装置」は、納豆・豆腐の帯掛け包装機では、国内の30から40%程度のシェアを占め、顧客は北海道から九州までの全国に及びます。

齋藤社長は「被災した顧客のところまでたどり着くのが大変でしたが、喜ばれました。これからも迅速な対応で信用第一に努め、永遠のテーマである機械

の高速化に挑戦し続けていきます」と語っています。

▼(有)光豊▼新港南二丁目37-22の15▼0133(64)11100▼http://www.koho-inc.co.jp



1000帯掛け包装機及び段積み移り装置

商品紹介

Precious evan プレシャス エヴァン 抗菌消臭剤

抗菌消臭剤

自動車・工業用ゴム製品及び医療機器の製造メーカーの「徳重」が、新たに開発した新商品です。院内感染対策用に開発された3つの金属イオンによる複合金属触媒で抗菌、消臭、防カビを実現!



チタン・銀・亜鉛の3つの要素が開発のハイブリット技術で結びつき、光が無くても光触媒効果を発揮。二オイは無臭、からだにやさしく、浮遊菌や悪臭分子を根本から分解いたします。特にイオン効果により二オイの吸着やカビの繁殖防止には効果絶大です! クルマの中やご家庭、店舗・工場などあらゆる場所で効果を発揮します。

株式会社 徳重 (とくえ)

本社/愛知県知立市西町本田66番地1
札幌支店・石狩工場/
〒061-3241 石狩市新港西3丁目764-3
お問合せ TEL(0133)68-6677
URL http://www.sisuner.co.jp

希望小売価格
・300mlボトル 2,400円
・250ml詰め替え用 2,000円
・50ml携帯用 700円

企業100 立地紹介

シンセメック 株式会社



代表取締役社長 松本英二氏

北海道から「世界に一台だけ」の機械を! 確かなものづくり「めざして」

蓄積してきた機械加工技術を石狩に集約

昭和25年に小樽で松本工業所として創業して以来、機械部加工の技術などを蓄積してきました。平成16年に設計・組立を行う本社を札幌市内に移転し、平成20年には部品製造を担うマシンセンターを石狩湾新港地域(石狩市新港西二)に1万平方メートルの用地を取得し移転しました。さらには、集約化を図って生産効率を高めるため、札幌市内からエンジニアリングセンター(延べ面積1,100平方メートル)を同じ敷地内に移転増築し、この7月から稼働させます。

トヨタ自動車北海道㈱、㈱ダイナックスなどの自動車関連メーカーや、電気・電子、住宅設備など、様々な業種に顧客を持ち、北海道内はもとより関東、関西、また近年は米国、中国、インドなどの海外からの注文にも応えています。

各企業のニーズに応え様々な省力化装置や試験機、計測機器、ロボット組込み装置を考案設計し、そのアイデアや品質に対して、各界から高い評価を得ています。

「自社での一貫生産体制」

同社では、生産管理にかかわる独自のコンピュータソフトを開発・構築。これは、設計、組立てなどに要する時間や購入品などの経費を総合的に管理して、工程と原価などを把握し、最適な業務体制を築くものです。このソフト

トは札幌商工会議所などが実施する「2004北海道IT活用撲集」で「北海道IT活用特別賞」を受賞しています。

この業務体制などに伴って同社のメリットは、低コストでできること。設計から加工組立制御まで一貫して自社で行うことで、他社に依頼すべき工程が削減でき、お客様の期待に応えられることです。

「お客様の要求仕様にもとづき、省力・自動化をサポートする装置や生産ライン設備の構想から設計・部品製作・組立・据付・アフターサービスなど、一貫して自社スタッフで対応できる点が同社の特徴。設備や部加工にお悩みでしたら気軽に相談してください」と語る松本社長。

精密機械、電気コンピューター分野など専門知識とともに機械装置製作に関する幅広い視野がもたられます。若きスペシャリストの集団は、和気あいあいの中で試行錯誤、創意工夫を繰り返して、新たな可能性にチャレンジし、これまでに自信を持って2,300台以上の装置を世に送り出してきました。

完成に至るまでは容易ではなく、成し遂げた時の達成感こそが仕事の原動力になっています。また昨年、北海道出

身の技術者2名が「ものづくり日本大賞」製造・生産プロセス部門において優秀賞を受賞しています。

■産学官連携の研究事業への参画

同社は産学官が連携する研究開発事業にも積極的に参画しています。当初、北海道立工業試験場などと組んで開発した「かぼちゃカット機」は、冷凍食品向けに一口サイズにカットする装置。皮が固いかぼちゃを手作業で切断するには手間がかかっていました。裁断装置は半分に切ったかぼちゃの中心の不要部分を、自動的にくりぬき16個にカットできるもの。試作の繰り返しで4年を費やし、この程一台目を販売、これから本格的な営業展開を行う計画です。

また、北海道大学などと連携した「細胞培養デバイス用



また、北海道大学などと連携した「細胞培養デバイス用



かぼちゃカット機

シンセメック株式会社
本社/札幌市西区八軒10条西12丁目1-30
TEL.011-623-1015
マシンセンター・エンジニアリングセンター
/石狩市新港西2丁目788-7
代表者/松本英二氏(代表取締役)
社員数/37名
資本金/3000万円
WEB/http://www.synthemec.co.jp